

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14本郷ダイヤビル6F

TEL 03-4236-5200 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 高溝 靖規

<http://www.computernews.com/marketview>

02年第2四半期のパソコン店頭販売動向 個性的なモデルが掘り起こすパソコン需要

株式会社コンピュータ・ニュース社（本社：東京都文京区、代表取締役 奥田喜久男）の市場調査部門であるBCN総研では、2002年第2四半期（4月～6月）における店頭市場のパソコン販売データを集計した。その結果、店頭市場規模（台数）は、6月のワールドカップで客足が鈍った影響もあり、前四半期に比べ17%の減少となった。市場は低迷しているものの、デスクトップでは「モニター体型」が、ノートでは「ミニノート型」などのコンパクトタイプが人気を得ている。万人向けではないものの、嗜好の多様化にマッチした個性的な製品がヒットし、パソコン需要を掘り起こしている。

*BCN総研は、東名阪のパソコン大手販売会社12社（エイデン、大塚商会＝ランド、グッドウィル、コンプ100満ボルト、コンプマート、上新電機、ソフマップ、九十九電機、T-ZONE、ニノミヤ、ビックピーカン、ワンダーコーポレーション＝50音順）522店舗（2002年04月01日現在）の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、PCリテール市場の動向を分析したニュース配信を行っています（毎月第2、第4金曜日の発行となります）。

BCNランキングを通じて、2002年第2四半期におけるパソコンの市場規模（台数）をみると、前四半期（1月～3月）比17%の減少と、落ち込み幅が前々四半期 - 前四半期より広がっている。（図1）減少幅が広がった要因としては、まず、6月のワールドカップ開催により、店頭への客足が鈍ったことがあげられる。それに加え、部材高騰によるパソコン夏モデルの価格値上がりも、販売低迷の一要因と考えられる。そこで、2002年1月以降の発売モデルについて、発売月別に平均実売価格の推移を追うと、デスクトップの5月発売モデルの実売価格が22万円前後と、それまでのモデルより2万円以上高くなっている。（図2）一方、ノートでは、1、2月発売モデルは、発売時は20万円前後であったが、4～6月発売モデルは21万円台と上がっている。全機種平均実売価格も漸増傾向にあった。（図3）価格上昇による一層の販売不振が懸念されていたが、7月に入り、販売価格は横ばい～低下傾向にあり、需要上向きへの一助となることが期待される。

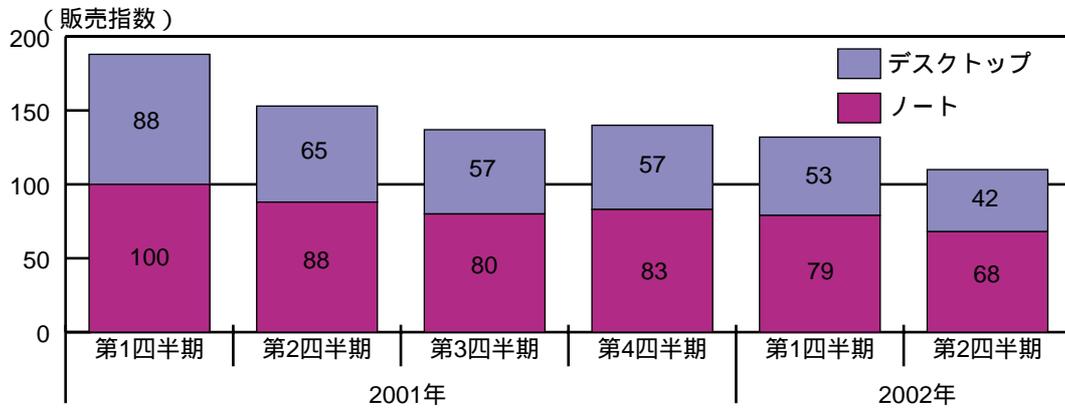
次に、カテゴリー別にタイプ別販売動向をみると、デスクトップでは、「コンパクト」が6割弱と主流であることに変化はない。次いで、「モニター体型」が24%と「タワー」をやや上回るに至った。（図4）「iMac」と「VAIO W」が前四半期に引き続き好調なのに加え、「eMac」も登場したことで一段と活気づいている。ノートでは、主流の「A4型」の構成比が55%と、9ポイント下がった。その分「ミニノート型」「A4スリム型」などが増えている。（図5）デスクトップ、ノートとも、主流タイプは5割以上を占めているが、先にあげたモニター体型モデルや「VAIO U」のように、個性的なモデルは、広く長く人気を得てランキング上位に登場してきている。

万人向けではないものの、嗜好の多様化を見据えた個性的な製品こそが、パソコン需要を喚起していくと思われる。

* 本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。

赤島までご連絡下さい（akashima@bcn.co.jp）。

図1 パソコン店頭市場の販売台数推移（四半期別）



2001年第1四半期のノートタイプの販売台数を100とした指数

図2 販売月別平均実売価格の推移（デスクトップ）

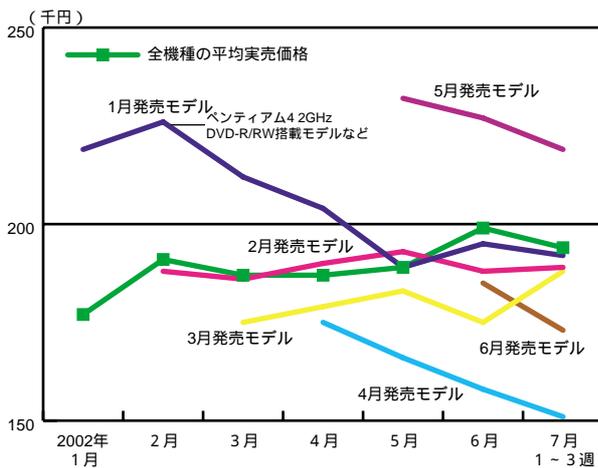


図3 販売月別平均実売価格の推移（ノート）

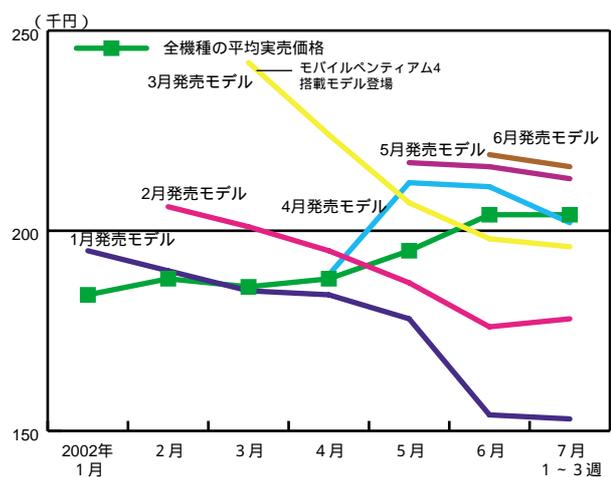


図4 タイプ別販売台数構成比（デスクトップ）

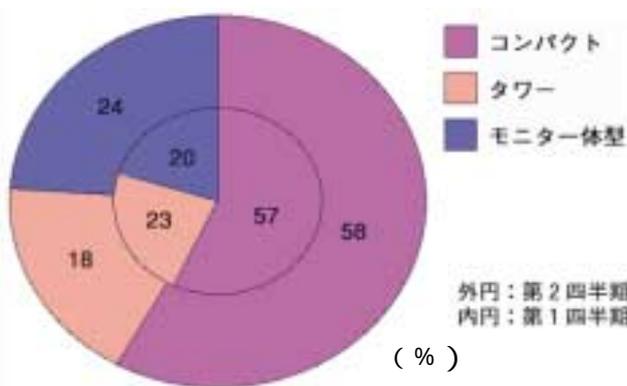


図5 タイプ別販売台数構成比（ノート）

